

会告

- 溶接界発展のための日本溶接会議（JIW）の改組と日本溶接協会との共同事業の開始に関する件
- 「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」ミニ研究会 会員募集
- 平成28年度各賞受賞候補者の推薦について
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- 平成28年熊本地震による被災会員（個人会員）の平成28年度会費免除について
- Best Author賞（JWS Best Author Award）の推薦について
- WEB掲載の溶接学会論文集34巻（平成28年度）の印刷物の購入について
- 平成29年度春季全国大会講演概要の頒布について
- 溶接学会主催行事予定について
- Mate2017 第23回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
— IoT時代に求められる電子システム創成 — 参加者募集
- 大阪大学 接合科学研究所 技術職員公募
- 大阪大学 接合科学研究所 教員公募

溶接界発展のための日本溶接会議（JIW）の改組と日本溶接協会との共同事業の開始に関する件

当会と一般社団法人日本溶接協会は、両団体で運営を図ってきた日本溶接会議（JIW）を改組し、国際溶接学会（IIW）の対応を充実させるとともに高い見地から当会及び日本溶接協会の共同事業を推進することを両団体の理事会において承認しました。10月1日から順次活動を開始いたします。

近年、中国等における現地生産コストの上昇等により製造の日本への国内回帰が一部で顕著になるとともに、2020年の東京オリンピック需要やインフラ投資等により国内の建築鉄骨部門は好調な状況にあります。これらを背景に溶接関係者の不足は顕著になってきており、日本溶接協会が実施する溶接管理技術者や溶接技能者の受験者数は昨年度より増加に転じております。然しながら地方を中心とした溶接教育関係者の減少は深刻で必要な溶接教育を十分に実施できない状況にあるため、新規受験者の合格率低下が顕著となっています。世界的に特殊工程と類される溶接は、認証による品質維持が必須であり、このままでは世界をリードする日本の工業製品の基盤技術である溶接の品質を維持することが難しくなることが懸念されます。

その中で溶接界における研究者数の減少は、3Dプリンタ（Additive Manufacturing、積層造形）や超高張力鋼の溶接など最先

端の研究に関する競争力を低下させるものとなります。また、地方を中心とした教育研究者の減少は溶接研究だけでなく溶接教育そのものの機会と質を低下させるものとなります。

以上のように溶接界が直面している危機的状況に鑑み、当会と日本溶接協会は溶接界の発展のために一致協力して取り組むことといたしました。

具体的には日本溶接会議（JIW）を従来のIIW対応に加えて、当会と日本溶接協会が共同推進が必要な企画を幅広い視点から立案する組織に改組するものです。共同企画立案のためJIWに共同企画委員会を設置し、当会の企画委員会と日本溶接協会の総合企画会議とが連携し、溶接界発展のための新たな取組みを立案・実行するものです。

本案は9月6日にJIW理事会、9月14日に当会理事会、9月28日に日本溶接協合理事会において承認を得たため、新体制に10月1日より移行していきます。

今後、JIWの共同企画委員会委員の選任と具体的な活動案作成を開始し、12月を目処に新体制によるJIWの第1回理事会にて審議する計画です。

【平成28年10月5日プレスリリース】

「インフラ溶接構造物の維持管理のための評価技術の展開」ミニ研究会 会員募集

1. 趣 旨

経年化、老朽化が進行する社会インフラを適切に維持管理し長期的に供用していくことが、安全・安心な国民生活を担保するために不可欠な課題となってきています。本研究会では、橋梁、ライフライン（水道、ガス）、港湾施設などのインフラ溶接構造物の点検、補修補強を含めた維持管理のための各種評価技術に関する最新研究の紹介、技術動向のレビュー、維持管理現場の現状および将来的な課題、ニーズに関する調査を行います。各要素技術と現場のニーズとのマッチングを図り、インフラ溶接構造物の維持管理に関する新しい研究分野の開拓に繋がる情報交換、ネットワーク形成の場とすることを目的としています。

2. 内 容

本研究会では、インフラ構造物における経年劣化（疲労、腐食）や、突発的事象（地震、水害、火災など）による損傷に対し、特に溶接部、接合部（ボルト、リベット、接着）に注目した構造物への影響評価や健全度診断、非破壊検査、補修補強に関する研究、技術動向の調査を行います。産官学の研究者、技術者を交え、インフラ維持管理の課題、ニーズなどの現状について勉強会や討論会、現場見学を通して意見交換します（勉強会、討論会：年4回程度、現場見学：適宜開催）。本研究会の意見交換およびネットワーク形成を通して、技術シーズと現場ニーズをマッチングさせた新しい研究課題の提起を目指します（維持管理評価技術のフィールド適用検証など）。

3. 研究期間

平成29年3月～平成30年2月

4. 組 織

主査：廣畑幹人（名古屋大学 大学院工学研究科）
副査：高嶋康人（大阪大学 接合科学研究所）
幹事：岡野成威（大阪大学 大学院工学研究科）
委員：和泉遊以（滋賀県立大学）、清水優（名古屋大学）、
小谷祐樹（川田工業）、松本直幸（IHI）、
岡本亮二（阪神高速道路）、
吉田善紀（鉄道総合技術研究所）

5. 参加資格

インフラ溶接構造物の維持管理およびその評価技術について関心があり、情報交換に積極的に参加できる方。当該分野における新規テーマ開拓に強い意欲のある方。将来性のある新しい研究分野の開拓を目的とするため、原則として40歳未満の若手研究者、技術者（産官学）を対象とします。溶接学会会員、賛助員企業の参加はもとより、他学会に所属する研究者、技術者の参加も歓迎します。

6. 問合せ・申込先

氏名、所属、部署、職名、連絡先（住所、TEL、e-mail）、専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。
廣畑幹人（名古屋大学 大学院工学研究科 准教授）
E-mail：hirohata@civil.nagoya-u.ac.jp

平成28年度各賞受賞候補者の推薦について

下記により平成28年度佐々木賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞、溶接学会技術貢献賞、妹島賞の各受賞候補者を募集いたしますので、適格者がございましたら、所定の推薦書（本会 HP より入手下さい）によりご推薦下さいようお願いいたします。

項 目	佐々木賞	田中亀久人賞	溶接学会業績賞	溶接学会技術貢献賞	妹島賞
授賞対象	多年にわたり溶接技術の開発または応用・普及に関し、その業績顕著なもの及び溶接技術について後進の教育指導、育成の業績顕著なもの。	ガス炎を利用した溶接・切断、工作等及び溶接技術全般に関し研究開発並びに実用化についてその業績顕著なもの。	溶接の学術に関する各部門において優秀な業績を挙げたもの。	溶接技術の開発または応用普及に中核的な役割を果たし、その業績顕著なもの及び溶接技術について若手技術者への教育・指導・育成の業績顕著なもの。	溶接プロセス（ハード及びソフト）に関する技術開発並びにその応用に尽力し、生産（製造）分野で多大な貢献のあったもの（個人又は団体）。
候補者資格	本会会員	本会会員に限らない			
推薦者資格	本会会員				
推薦手続	次の事項を記載した文書（所定の書式）6部を学会長宛（溶接学会事務局）に提出する。 イ、候補者の氏名、職業・勤務先・役職名 ロ、候補者の略歴 ハ、賞を受けんとする業績の詳細（裏付となる資料を添付） ニ、推薦者の氏名、連絡先 溶接学会業績賞については、賞を受けんとする該当分野とそこでの学術に関する業績の詳細及び該当分野に関する論文リストを添付する。溶接学会技術貢献賞については、賞を受けんとする業績の詳細を添付する。				
推薦書提出期限	平成28年12月31日				平成29年1月31日
授賞年月日	平成29年4月20日（第85回通常総会）				
そ の 他	多年にわたる業績をお考え下さい。年令に制限はありませんが、溶接に通算15年以上関与したことを原則とします。またその業績には公的な活動が含まれていることが望ましい。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。	佐々木賞が多年にわたる業績（功労）を対象とするのに対し、本賞はある時期に示された優れた業績を対象とします。特許資料、公刊誌への発表・紹介など、業績を裏付けるための十分な資料を添付して下さい。	第1部門：溶接・接合、熱加工プロセス及び機器 第2部門：制御、システムの工学・技術及び組立実装技術 第3部門：材料及び溶接・接合性 第4部門：材料・製品の強度・破壊と設計 第5部門：施工・管理及び品質保証・品質管理 第6部門：新領域・境界技術	佐々木賞と同様、開発並びに技術普及・教育等の活動を含めて複数の業績があり、年令は45才以下であることを原則とします。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようにして下さい。	故 妹島五彦君による寄贈基金で運用されており、妹島君が活躍された溶接プロセス分野の業績をお考え下さい。

● 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、平成 27 年 7 月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作（約 5～10 分）をお願いいたします。

①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン（会員情報等変更の有無にかかわら

ず必ず押してください）

なお、マイページの URL は、member.jweld.jp/mypage ですが、溶接学会 HP からログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。

（マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください）

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

● 平成28年熊本地震による被災会員（個人会員）の平成28年度会費免除について

この度の平成 28 年熊本地震により被災されました会員の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、会員ならびにご家族の皆様のご健康・ご安全と一日も早い復興をお祈りいたします。

被災されました個人会員（被災時点で正員、学生員の方）の平成 28 年度年会費を全額免除することになりました。（平成 28 年 6 月 27 日理事会決定）

年会費免除をご希望される会員は、下記溶接学会 HP をご覧の上、お申し出下さい。

溶接学会 HP <http://www.jweld.jp/>

なお、既に平成 28 年度年会費をご納付いただいている場合には、平成 29 年度年会費に充当させていただきます。

● Best Author賞(JWS Best Author Award)の推薦について

下記により Best Author 賞の推薦を募集いたします。

本年第 1 号（1 月号）から第 8 号（12 月号）までに会誌に掲載された記事の中から優秀と認められるものを、巻号、題名、著者、推薦理由を記して、1 編、編集委員会宛ご推薦下さい。

（平成29年 1 月31日まで）

【賞の概要】

会誌「溶接学会誌」に発表された記事のうち、特に多数の会員の研鑽、及び、学術、技術の向上、普及に貢献した記事の著者に授与される。

【選考委員】

同賞選定委員会

委員長：会誌編集委員長

委員：編集委員より数名（各分野代表＋総合企画＋副委員長）

【選考方法】

会誌編集委員および会員モニタの推薦による記事の中から選定委員会で選定する。

【選考基準】

溶接学会誌の本年第 1 号（1 月号）から第 8 号（12 月号）までに掲載された記事の中から、優秀と認められるものを、原則として毎年数編以内選定する。

【表彰等】

4 月通常総会席上で表彰、賞状の贈呈。

【推薦書送付先】

（一社）溶接学会 編集委員会宛

WEB掲載の溶接学会論文集34巻(平成28年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される方は、下記により、平成29年3月31日までに申し込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集34巻(平成28年度)

【価 格】 15,500円/冊(税込・送料別)

【申込先】 「お名前(会社名)」「送付先住所」「冊数」
をご明記の上、FAXにてお申し込み下さい。

日本印刷出版株式会社

TEL: 06-6441-0075

FAX: 06-6443-5815

平成29年度春季全国大会講演概要の頒布について

平成27年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成29年度春季全国大会講演概要

価 格: 12,000円(税・送料込)

発送時期: 平成29年6月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X: 03-5825-4331

申込締切: 平成29年5月8日(月)

入金締切: 平成29年5月31日(水)

なお、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

溶接学会主催行事予定について

溶接学会本部、支部を含め、全国大会、シンポジウム、研究発表会、講演会、講習会、研修会、見学会など溶接学会主催の公開行事の予定を溶接学会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

溶接学会HP「イベント情報」→「溶接学会主催行事予定」をクリックして下さい。

URLは、<http://www.jweld.jp/event/pdf/event-main-calendar.pdf>



Mate2017 第23回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム

— IoT時代に求められる電子システム創成 — **参加者募集**

日 時：平成29年1月31日（火）8：50～17：40
 2月1日（水）8：50～17：05
会 場：パシフィコ横浜 会議センター
 横浜市西区みなとみらい1丁目1-1
主 催：（一社）スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会
 （一社）溶接学会 マイクロ接合研究委員会
共 催：（一社）エレクトロニクス実装学会
 （公社）化学工学会 エレクトロニクス部会
 （一社）レーザ加工学会
協 賛：応用物理学会、軽金属学会、精密工学会、電子情報通信学会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日本溶接協会

〈開催趣旨〉

日本のエレクトロニクス産業は、この20年間、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには、生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだグローバルなオプティマイゼーションとそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

【シンポジウム参加登録費（論文集代を含む）】

- 主催団体個人会員：20,000円
- 大学・国公立研究機関：20,000円
- 口頭発表者・座長：20,000円
- 主催団体維持・賛助会員：25,000円
- 共催団体会員：25,000円
- 協賛団体会員：30,000円
- 一般：35,000円
- 学生：10,000円

【シンポジウム参加申込方法】

下記シンポジウムURLより、平成29年1月13日（金）までに参加登録を行って下さい。

<http://sps-mste.jp/mate2017/src/index.html>（11月中受付開始）

○参加費のお支払いは銀行振込にてお願い致します。振込期日までにお振込みが間に合わない場合は、当日現金にてお支払い願います。

振込先銀行：三井住友銀行 千里中央支店

口座番号：普通0978673

口座名：Mate組織委員会 [メイトソシキイインカイ]

振込期日：平成29年2月28日（火）

○シンポジウム1日目に懇親会を開催します。シンポジウム参加申込時にお申し込みください。

懇親会参加費：5,000円

【問合せ、申込先】Mate 2017 事務局

（ものづくりリエゾンオフィス（MLO）内）

TEL：06-6878-5628 FAX：06-6879-7568

E-mail：mate@sps-mste.jp

シンポジウムURL：

<http://sps-mste.jp/mate2017/src/index.html>

プログラム（セッション名と発表件数）

●プレナリーセッション（1月31日（火）13：50～15：50）

「IoT時代に求められる電子システム創成」

1. オープンIoTで創る新しい社会：
坂村 健氏 東京大学
2. IoTを巡る動向とものづくりの将来展望：
澤田 浩之氏 産業技術総合研究所
3. 「シミュレーション統合生産」によるサイバーフィジカル動的最適化生産～IoT時代に先見力を与える予測的エンジニアリング～：
中村 昌弘氏 ㈱レクサーリサーチ
4. 製造現場におけるIoTを活用した生産革新：
松原 伸治氏 三菱電機㈱

1月31日（火）8：50～17：40	2月1日（水）8：50～17：05
[A-1] パワーデバイス（1）（5件） [A-2] ナノ・マイクロマテリアル（5件） [B-1] 実装材料の信頼性評価（5件） [B-2] 回路基板・パッケージ（講演1件＋論文3件） [C-1] マイクロ加工（5件） [C-2] 生産・製品システム（講演1件＋論文4件） プレナリーセッション 13：50～ ポスタープレゼン 16：00～ ポスターセッション 16：40～ 懇親会 17：50～	[A-3] ソルダリング（1）（4件） [A-4] ソルダリング（2）（4件） [A-5] パワーデバイス（2）（4件） [A-6] パワーデバイス（3）（4件） [A-7] パワーデバイス（4）（4件） [B-3] 実装構造における疲労信頼性評価（4件） [B-4] 接着技術（4件） [B-5] 樹脂実装（4件） [B-6] 3D実装（4件） [B-7] MEMS・医療センサ（4件） [C-3] プリントブルエレクトロニクス（4件） [C-4] 熱マネジメント（4件） [C-5] マイクロ接合（1）（4件） [C-6] マイクロ接合（2）（4件） [C-7] 新材料・プロセス（4件） （依頼講演2件＋一般論文発表87件 合計89件）

大阪大学 接合科学研究所 技術職員公募

1. 公募人員：技術職員若しくは技術専門職員 (常勤職員：任期なし) 1名 2. 所 属：大阪大学接合科学研究所 技術部 3. 業務内容：接合科学研究所における1)材料組織調査および関連装置の運転・管理¹⁾, 2)材料機械的特性調査および関連装置の運転・管理²⁾, 3)各種製造・加工装置を用いた実験およびそれらの運転・管理³⁾に関する業務, 4)安全衛生に関する業務, 5)その他技術部における関係業務全般 *1 光学顕微鏡, レーザ顕微鏡, SEM, EMPA, TEM, オージェ, X線回折装置, 粗さ試験機, STM等 *2 硬さ試験機, 引張・圧縮試験機, 疲労試験機, 衝撃試験機, およびX線や超音波による非破壊検査機器, 表面形状測定装置等 *3 3Dプリンタ, 放電加工機, 工作機械, 真空処理装置, 熱処理炉, プレス機, 溶接機, FSW, レーザ加工機, ロボット等 4. 応募条件： ・上記1), 2), 3), に関する基本的な知識を持ち, さらに, これらのうち一つ以上に深い経験を有する方 ・大学(4年制)の理工系学科を卒業した方, 又は高等学校卒業後3年以上の実務経験を有する方 ・大学の研究教育に理解と関心を持ち, 技術指導と安全衛生管理に意欲的に取り組める方	5. 着任時期：平成29年4月1日以降, 可能な限り早い時期 6. 選考方法：書類審査及び面接審査 7. 応募方法： (1) 所定のエントリーシートに必要事項を記載の上, 以下の宛先に郵送してください。実務経験は, その業務をわかりやすく説明した職務内容調書(様式は自由)を添付してください。 (2) 応募期限：平成28年12月28日(水) 必着 (3) 応募書類の送付先： 〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1 大阪大学接合科学研究所 庶務係長宛 Tel：06-6879-8677 E-mail：setugouken-syomu@office.osaka-u.ac.jp (問い合わせはE-mailをお願いします。) (封筒に「大阪大学接合科学研究所 技術職員 応募書類在中」と朱書き, 簡易書留で郵送のこと。応募書類は返却しませんので予めご了承ください。) 8. その他：所定のエントリーシートや労働条件等の詳細については, 以下の大阪大学接合科学研究所のホームページをご参照下さい。 http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp
--	--

大阪大学 接合科学研究所 教員公募

1. 公募人員：助教1名 (大阪大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。) 2. 所 属：大阪大学接合科学研究所 接合評価研究部門 信頼性評価・予測システム学分野 3. 専門分野：金属材料の溶接・接合メカニズムおよび溶接・接合体の特性・機能を材料科学的アプローチに基づき解明するとともに, 溶接・接合部の信頼性評価や経年変化予測に関する研究と教育を積極的に推進できる方 4. 応募資格： (1) 博士の学位または外国のPh.D.を有する, あるいは着任時期までに取得見込である方 (2) 当該専門分野における研究実績がある方 5. 着任時期：採用決定後, 可能な限り早い時期 6. 任 期：5年(実績評価により再任可) 7. 選考方法：書類審査(必要に応じて面接を実施) 8. 応募要領： (1) 必要書類 ・履歴書(写真貼付) ・研究業績目録(査読付原著論文, 国際会議論文, 著書, 総	説・解説, 特許, その他に分類下さい。 原著論文がインパクトファクターを有する場合はインパクトファクターを, また被引用件数も併記して下さい。) ・主要論文別刷(5編以内, コピー可) ・これまでの研究業績の概要(A4用紙2ページ程度) ・着任後の研究教育活動の計画と抱負(A4用紙2ページ程度) ・科研費等外部資金獲得の状況(代表者あるいは分担者を明記) ・その他の特記事項(受賞, 国内外での学会活動, 社会活動, 産学官連携など) ・2名の方からの推薦書(別送または別封), または応募者について所見を伺える方2名の氏名と連絡先 (2) 応募締切日：平成28年12月26日(月) 必着 (3) 応募書類の提出先 〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1 大阪大学接合科学研究所 庶務係長宛 Tel 06-6879-8677 (封筒に「大阪大学接合科学研究所 接合評価研究部門 信頼性評価・予測システム学分野教員応募書類在中」と朱書き, 簡易書留で郵送のこと。応募書類は原則として返却しません。) 9. 本件に関する問合せ先： 〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1 大阪大学接合科学研究所 信頼性評価・予測システム学分野 教授 井上裕滋 (Tel：06-6879-8671, E-mail：h-inoue@jwri.osaka-u.ac.jp) 接合科学研究所HP：http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp
--	---